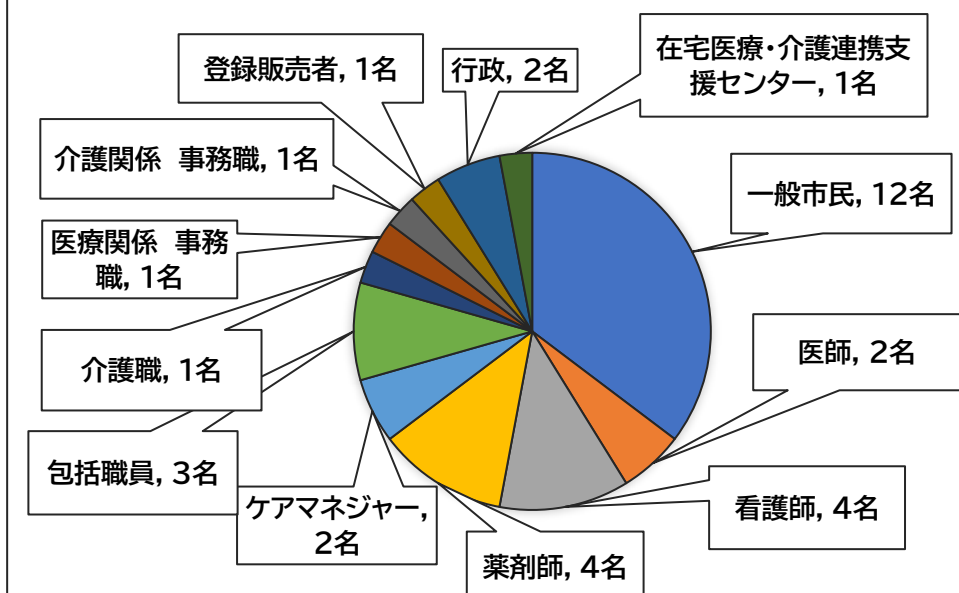
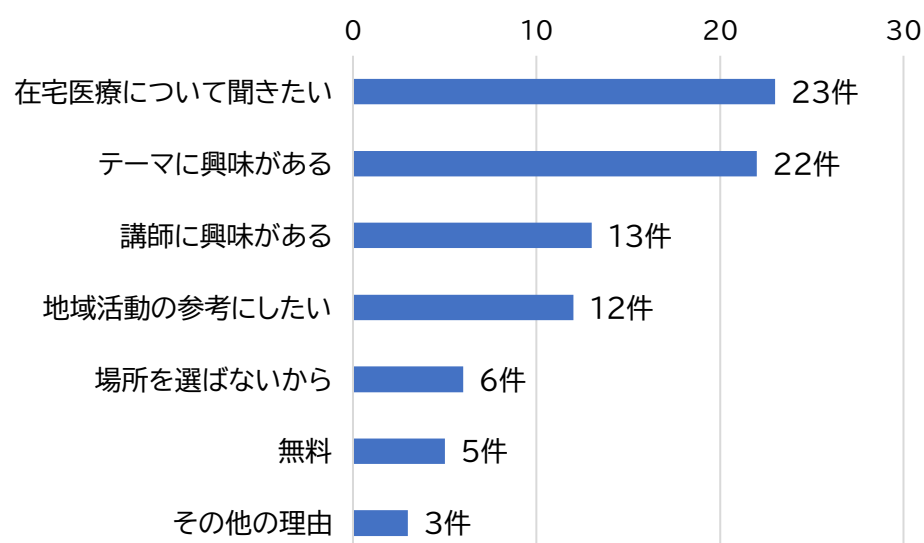


第3回 市民公開講座 アンケート集計結果
 (配信期間:令和4年3月30日~令和4年4月5日)
 視聴回数:330回(回線数:194件)
 アンケート回答者:34名

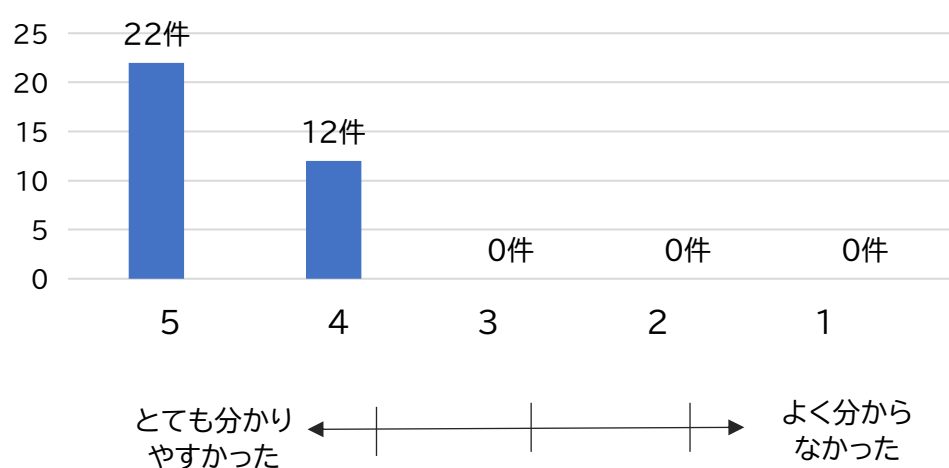
アンケート回答者内訳



1. 当研修会参加のきっかけ(複数回答)



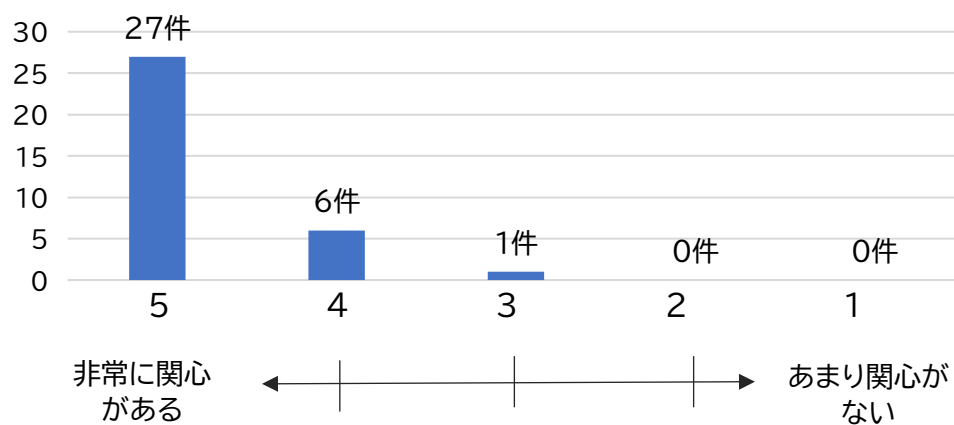
2. 講演内容について



3. もっとも印象に残った内容(アンケートより一部掲載)

- ・ 看取りとは最後の瞬間を見ることだけではない。
- ・ 「家族のためを思っただけの判断がかえって家族を苦しめる事もある」というお話が心に響いた。
- ・ まだまだ、連携が難しいと話しつつ、本人も家族も安心して過ごせる場の提供について前向きに取り組んでいらっしゃることに感謝し、希望を見いだせた。
- ・ どういう最期を迎えたいかは、家族に委ねるのではなく、本人の意思で決めるの事が大切。
- ・ 紙しばいが大変聞き易く分かりやすかった。
- ・ 人生ノートの作成と自分の人生は自分で決めること
- ・ 在宅医療と入院医療のメリットデメリットが分かりやすく、相談を受けた時の説明に役立てそうだと感じた。

4. 在宅医療や看取りに関して



5. 福島市在宅医療・介護連携支援センター「在タッチ」に期待する事 (アンケートより一部掲載)

- ・ 人生の最後の迎え方を考える機会を投げかけて欲しい。遠い先のことと思っても具体的に何からやればいいのか、行動に移すことが難しいため。
- ・ 困っている人や悩んでいる人への話を聞き、より良い方法を一緒に考えてくれる場になってもらえると助かる。
- ・ 地域医療そして、在宅看取り。自分の好きな家で大切な家族と共に最後までいられる体制づくり。

6. ご意見・ご感想 など(アンケートより一部掲載)

- ・ 在宅医療の介護者からの質問や不安に思うことなどが具体的に挙げられ、とても分かりやすかった。
- ・ 自己決定が大事ですね、それが家族に迷惑をかけないことですね。
- ・ 現状のデータを交えた説明、在宅医療についての説明が分かりやすく勉強になりました。「ほぼ在宅、ときどき入院」は気分的に楽になりました。
- ・ 私も母を看取りましたが、やっぱり家族に見守られて最期を迎えるのが幸せなのかなと思います。今はコロナ禍で病院などは面会もできないので特に思います。